

メッセージアウトライン

日付	2011年4月17日
単元	イースター
テーマ	十字架
タイトル	十字架につけられたイエス様
テキスト	ルカ23:26-49
参照箇所	マタイ27:32-56、マルコ15:21-41、ヨハネ19:17-30
暗唱聖句	ルカ23:34

導入	この前のお話しは、オリーブ山でイエス様が逮捕されたということを学びました。今日は、イエス様が裁判にかけられて、罪がないのに十字架につけられたお話しです。
I	<p>イエス様は十字架につけられました</p> <p>A. イエス様はゴルゴダの丘で十字架につけられました</p> <p>B. イエス様は二人の犯罪人と一緒に十字架につけられました</p> <p>C.</p>
II	<p>イエス様は十字架の上で祈られました</p> <p>A. イエス様は「彼らを赦して下さい」と祈りました</p> <p>B. 犯罪人の一人が「自分のことを思い出して下さい」とイエス様に言いました</p> <p>C. イエス様は「あなたは私と一緒に天国にいる」と約束して下さいました</p>
III	<p>イエス様は十字架の上で息を引き取られました</p> <p>A. 昼の12時頃なのに暗くなりました</p> <p>B. イエス様は最後のお言葉を叫ばれました</p> <p>C. ローマの隊長は十字架のイエス様をみて神様を賛美しました</p>
結論	イエス様は私たちの罪の身代わりとして十字架につけられました
適用	イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちを罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、いまお祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。
備考	

